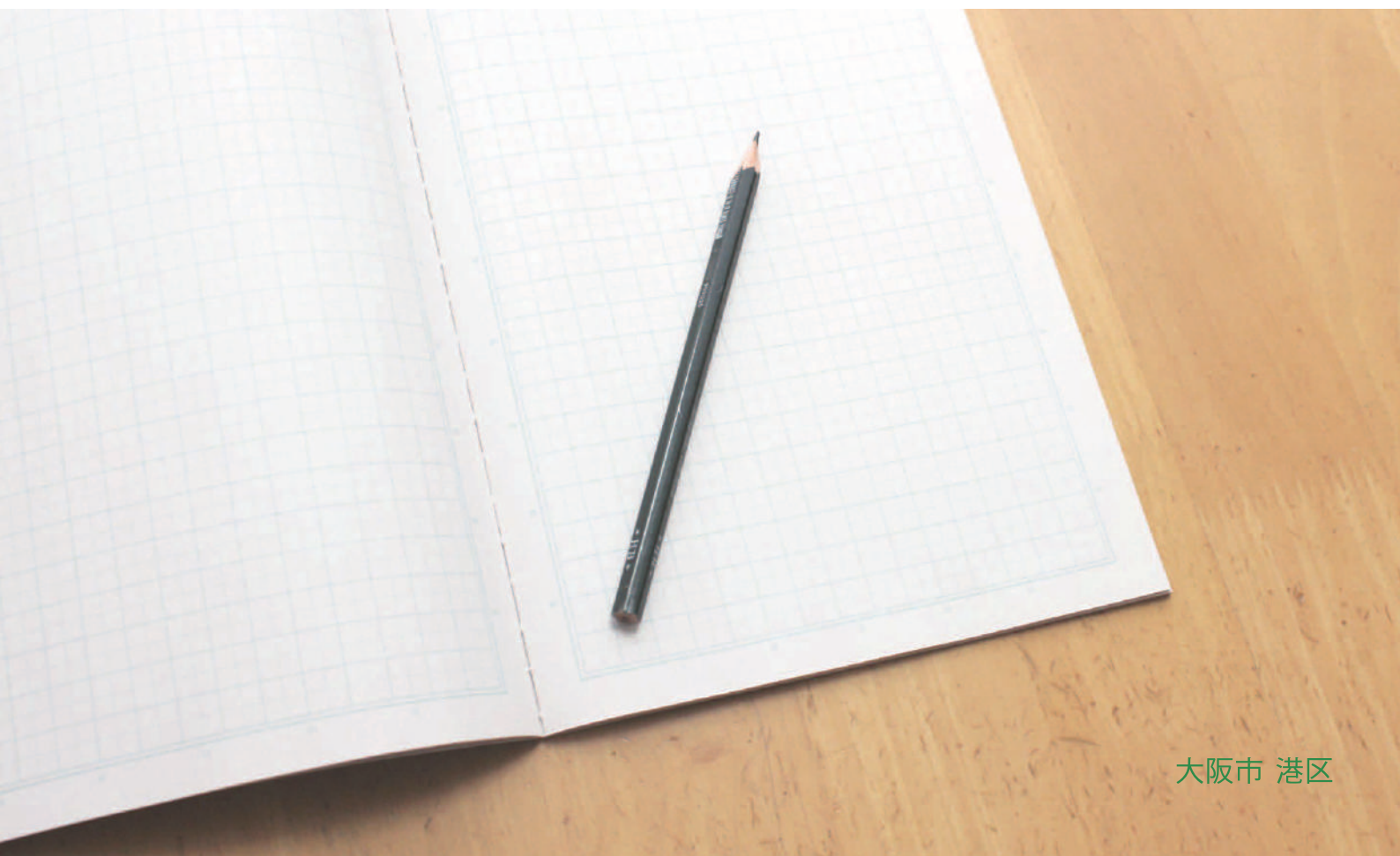


港区版

家庭学習の手引き



港区のキャラクター「みなりん」



目次

ごあいさつ 1

ステップ
1

港区版 家庭学習の手引きについて 2

第1章 早寝、早起き、朝ごはん ～基本的な生活習慣～ 3

1 朝食をとって元気な一日のスタートを！ 3

2 早寝早起きは生活リズムの基本 4

3 ほめて、はげますことが大切 5

4 社会性・コミュニケーション能力をはぐくむ 6

5 保護者の学校や地域への参加 7

志水先生のなるほどコラム - 「つながり」が子どもを支える 8

家庭学習チェックシート ステップ1「早寝、早起き、朝ごはん」 9

ステップ
2

第2章 家庭学習のできる環境づくり 10

1 時間を決める 10

2 場所を決める 12

3 まずは宿題と明日の準備から 12

4 保護者の協力 13

5 携帯電話、インターネット、SNSについて 13

志水先生のなるほどコラム - 家庭学習の習慣づくり 15

家庭学習チェックシート ステップ2「家庭学習のできる環境づくり」 16

ステップ
3

第3章 子どもの発達段階に応じたかかわり 17

1 中1ギャップ問題とは 17

2 発達段階に応じたかかわりと学習方法 18

【小学校1・2年生】一緒に学習してやる気を起こさせる 18

【小学校3・4年生】認めてほめて自信をつけさせる 19

【小学校5・6年生】見守ってはげまし、自主性を伸ばす 20

【中学校1・2年生】しっかりはげまし、心のケアを十分に 21

【中学校3年生】進路について家庭で話し合う時間をとる 22

志水先生のなるほどコラム - 子どもとどうかわるか「期待すること」の大切さ 23

家庭学習チェックシート ステップ3「子どもの発達段階に応じたかかわり」 24

参考資料

第4章 家庭学習のお役立ち情報 25

1 家庭学習に役立つ教材あれこれ 25

2 おすすめホームページ 27

3 地域の教育資源 28

ごあいさつ

平素は港区政各般にわたりご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

港区では、まちづくりの「将来ビジョン」の5つの柱の一つに「子育て世代が魅力を感じるまちづくり」を掲げ、特に教育の分野では今までにない新しい取り組みを進めています。平成25年度からは、教師が学習指導に本来の力を注げる環境づくりのため、専属のスクールソーシャルワーカーを配置し、市立幼・小・中17学校園を巡回・派遣しています。このことにより、区役所として、不登校等の教育上の諸課題を把握することができ、平成26年度から「中1ギャップ問題」^(※1)の解決に向けたパイロット事業を、大阪市で初めて実施することとしました。その内容は、不登校や不登校傾向の児童へサポーターを配置し、中学校での不登校の予防をはかること、また保護者の方にも加わっていただき作成する『家庭学習の手引き』を活用して、学力に相関の高い生活・学習習慣の改善を図り、家庭での学習環境を整えて子どもの「学び」を支援することです。

この『家庭学習の手引き』は、すでに学校で独自に家庭学習の手引きを作成、活用している港中学校・八幡屋小学校・池島小学校をモデル校として、保護者や校長先生にも参画いただいて作成したもので、教育社会学の第一人者である大阪大学の志水宏吉教授に監修をしていただきました。ぜひ、子どもの家庭学習の習慣づくりにご活用いただければと存じます。

港区では、これらの事業に加えて平成25年度から「こどもサイエンスカフェ事業」^(※2)と「絵本ひろば」^(※3)の開催を支援する事業を、平成26年度には、大阪市の特別予算枠を確保して、小中学生が「英語村」^(※4)などのアクティブな体験を通じて英語への興味やコミュニケーション力を高めるための「英語交流事業」を実施するとともに、大阪大学との協働で「こどもの居場所づくり」^(※5)のプロジェクトなどにも取り組んでいます。

今後も、子どもの「学ぶ力」、「生きる力」を伸ばしていくため、港区の教育分野における取組みを各学校と連携してより一層進めてまいります。引き続きの区政へのご理解、ご協力をお願い申しあげ、『家庭学習の手引き』の発刊にあたってのご挨拶といたします。

- ※1 小学校から中学校へ進学した際、新しい環境での生活にうまく適応できずに生じる不登校等の問題
- ※2 子どもたちが研究員・技術者等とカフェ感覚で気軽に談話・交流を行い、科学に対する意欲・関心を高め、豊かな想像力を育むための事業
- ※3 様々な絵本を表紙が見えるようにして配架し、自由に選んだ絵本を、小グループで相互に読み合うなど、絵本を通して交流する場
- ※4 英語圏での生活の場面をつくり疑似体験することで、英語を自然に使えるよう工夫した教育環境
- ※5 家庭でも学校でもない、地域のボランティアが運営する第3の居場所（サードプレイス）づくり

平成27年3月

港区長

田端 尚伸